令和８年10月13日

総社市長　片 岡 聡 一　様

総社市議会議長　三 宅 啓 介

令和８年度　議会事務事業評価の結果について

総社市議会では本年度、「議会事務事業評価事業」として、令和８年度における下記３事業の事務事業評価を行った。

その評価結果を取りまとめたので、当該結果をもって 令和９年度予算編成への提言とする。

記

○ 定住促進事業（総務生活委員会所管）…… P2

○ ひきこもり支援事業（文教福祉委員会所管）…… P3

○ 道路等維持管理経費（産業建設委員会所管）…… P4

事　業　名	定住促進事業	
所管委員会	総務生活委員会	
評　　価	事業内容：拡充する	予算規模：拡充する
提言内容 審査の経過等	現状の予算規模と人員においては一定の効果を上げているが，事業のさらなる充実を図るため，以下のとおり提言する。 １　事業拡充と体制強化 人口減少に歯止めをかけ，移住・定住及び結婚支援のニーズに応えるため，人員の確保とあわせて予算の拡充を図り，事業全体の質の向上に努めること ２　多様な主体との協働推進 地域住民・ＮＰＯ・民間企業・大学等との連携・協働を一層深め，民間活力や外部委託の活用も視野に入れた，効率的かつ効果的な推進体制を構築すること ３　きめ細やかな対応の継続 移住・定住希望者のアテンドやお試し住宅の紹介にあっては，個々の背景や多様なニーズに寄り添った，きめ細やかな対応を継続すること	

事　業　名	ひきこもり支援事業	
所管委員会	文教福祉委員会	
評　　価	事業内容：改善し継続する	予算規模：現状維持
提言内容 審査の経過等	ひきこもり支援センター「ワンタッチ」自体は相談から横断的な支援に繋げられていることから評価に値するものであり，予算規模は現状維持とし，継続して事業を行っていただきたい。 しかしながら，ほっとタッチ・ほっとタッチぽえむの居場所事業に関しては，利用がひきこもり当事者に限定されていない実態があることから，受入体制も含め，適正な運営に努めること。また，ほっとタッチを平日全て開所する必要性の是非を見直すこと。 本事業は，県内外からも注目度が高く，多くの自治体が視察に訪れる本市を代表する事業の一つでもあり，１０年を迎える節目にあたり，平成２８年以来のひきこもり当事者の再調査実施や，事業の目的・対象・支援内容が適切であるかどうかを検討し，事業見直しの機会としていただきたい。	

事　業　名	道路等維持管理経費	
所管委員会	産業建設委員会	
評　　価	事業内容：拡充する	予算規模：拡充する
提言内容 審査の経過等	担当部局においては，限られた予算と人員の中，小規模工事の工夫やラジコン草刈り機の導入，市公式ＬＩＮＥ通報制度の活用など，住民参画を促しつつ最大の効果を発揮すべく尽力されている点は高く評価する。しかしながら，現在の予算・職員体制では市内全域の適切な維持管理はもはや限界に達しており，道路・水路の損傷は車両や歩行者の安全走行を脅かすだけでなく，豪雨時の内水氾濫リスクや，担い手不足による草刈り・樹木の伐採の遅れなど，課題は山積している。 道路等の適切な維持管理は市民生活の根幹であり，その安全・安心を担保することは行政の最優先責務である。 ついては，市民生活の基盤を守り，より一層きめ細やかな対応を行うため，次年度以降の予算編成については，事業内容及び予算規模の双方を拡充するとともに，担当職員の計画的な増員を図るよう提言する。	